

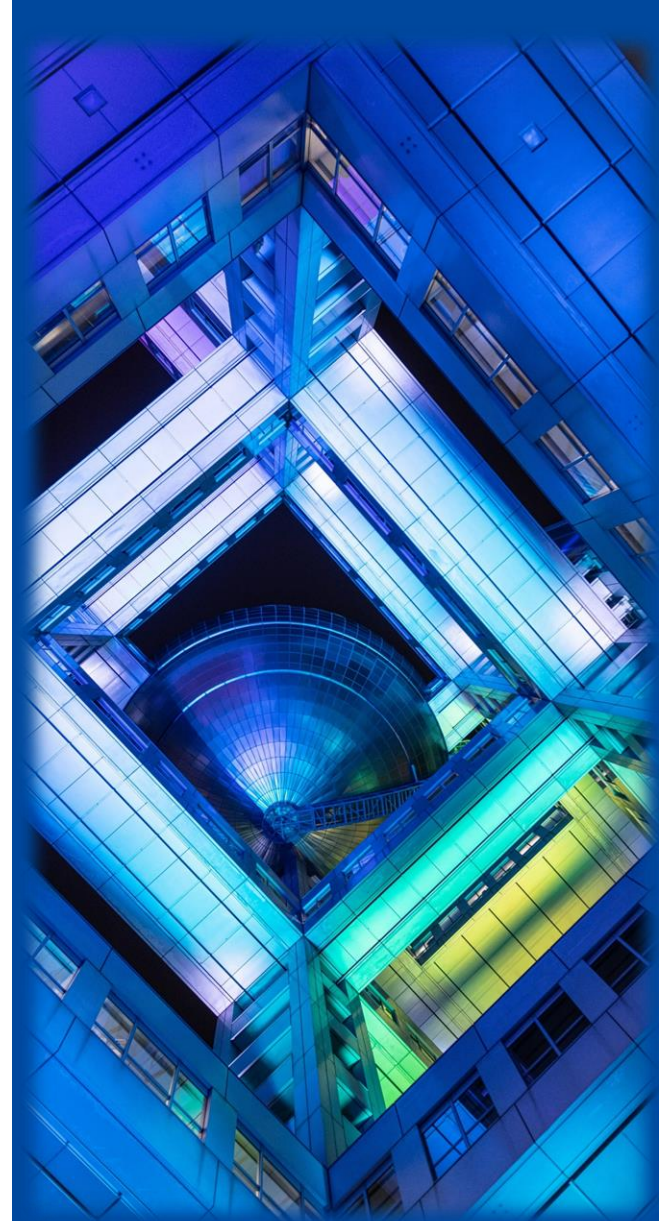
TCFD提言 に基づく情報開示

-目標の進捗状況-



フジ・メディア・ホールディングス

2025年11月14日



指標と目標 (2023年5月公表)

- 当社グループは、気候変動が経営に及ぼす影響を評価・管理するため、下記の通り指標と目標を設定します

指標

温室効果ガス (=CO₂) 排出量 (Scope1,2※1※2)

対象範囲

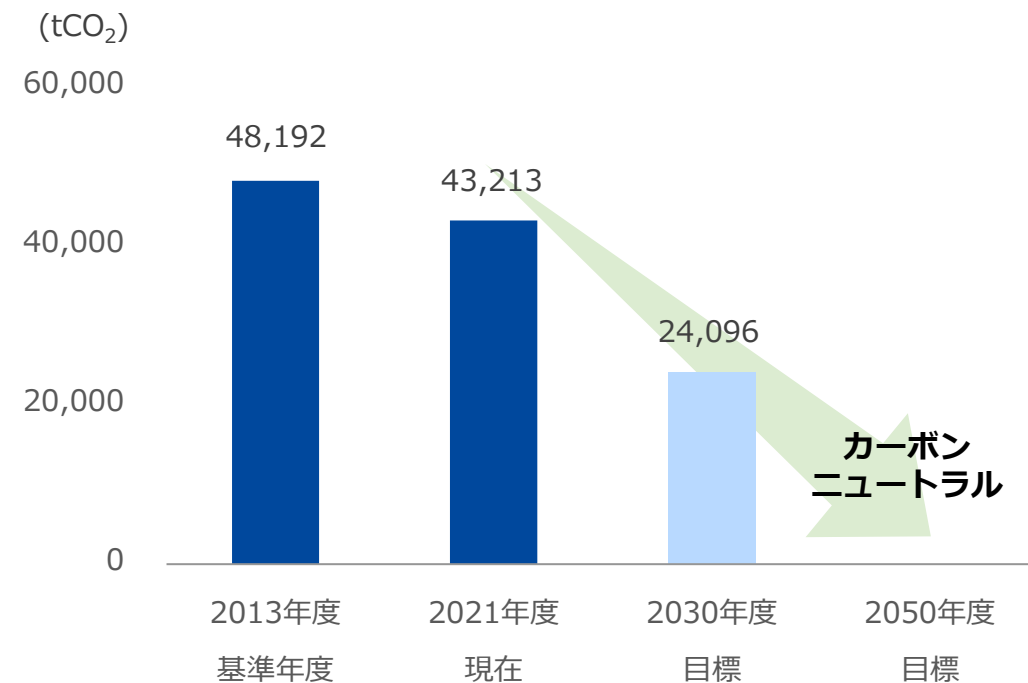
フジテレビジョン、サンケイビル、dinos

目標

- ① 2030年度までに**2013年度比50%減を実現**
- ② 2050年度までに**カーボンニュートラル※3を実現**

上記達成に向けて、2023年度にフジテレビ本社ビル、
湾岸スタジオで、非化石証書の調達などにより
実質再エネ電力100%を目指します

CO₂排出量の推移と目標 (Scope1+2)



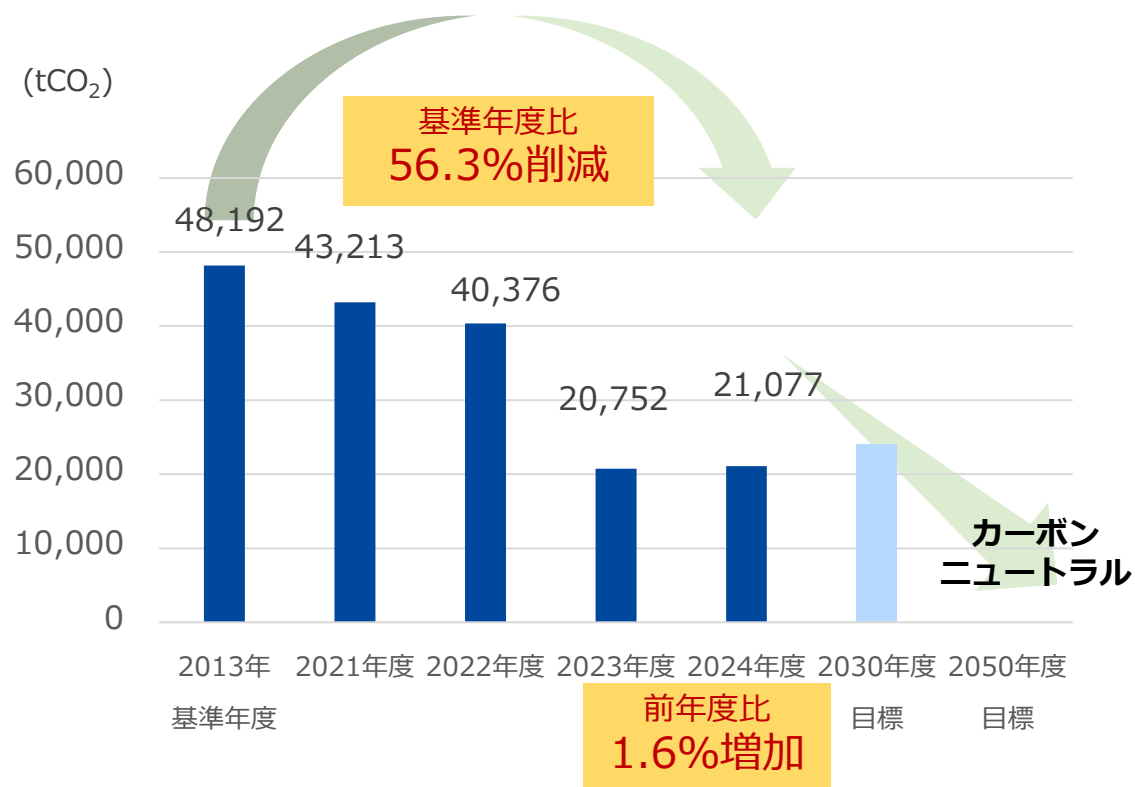
※1 Scope1 : 燃料消費に伴う排出量 (直接排出)

※2 Scope2 : 購入した電力・熱の使用に伴う排出量 (間接排出)

※3 出来る限り排出削減した結果、排出せざるを得なかった分を吸収または除去し、全体としてCO₂排出をゼロにする

指標と目標（進捗）カーボンオフセット後の排出量

2024年度グループ※CO₂排出量（Scope1+2）は 基準年度比56.3%減・前年比1.6%増



※対象範囲

フジテレビジョン、サンケイビル、dinos

・カーボンオフセット分を除いた**グループ排出量は基準年比56.3%の削減となりました。**

・2030年をグループ目標としていた基準年度比カーボンハーフは、フジテレビでカーボンオフセットを開始した2023年度に前倒しで達成しております。

・フジテレビのカーボンオフセット前の実績値に基づいた排出量推移については次ページをご参照下さい。

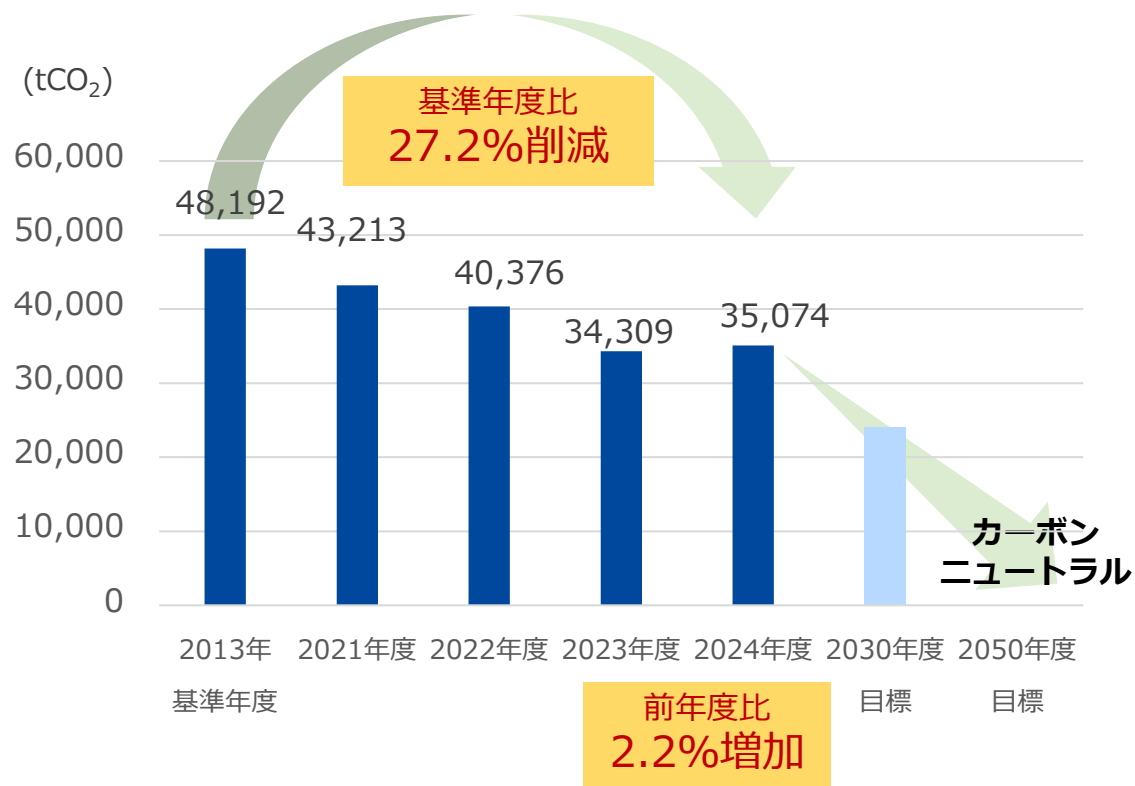
・フジテレビのカーボンオフセット詳細につきましては、5ページをご参照下さい。

<前年からの増加要因>

・集計対象社のうちフジテレビにおいて排出量が前年比増加となりました。フジテレビのエネルギー消費量は、省エネ施策が奏功し**前年比93.7%**となりましたが、調達先電力の調整後CO₂排出係数が増加したため、CO₂排出量が増加し、グループとしても前年度比**1.6%の増加**となりました。

指標と目標（進捗） フジテレビ カーボンオフセット前の排出量

2024年度グループ※CO₂排出量（Scope1+2）は 基準年度比27.2%減・前年比2.2%増



・2024年度において基準年(2013年度)比**27.2%の削減**となりました。なお、**本数値はフジテレビの排出量についてカーボンオフセット前の実績値を採用しています**

(参考)オフセット分を加味したグループ排出量は基準年比**56.3%の削減**となっています。

<前年からの増加要因>

・集計対象社のうちフジテレビにおいて排出量が前年比増加となりました。フジテレビのエネルギー消費量は、省エネ施策が奏功し**前年度比93.7%**となりましたが、調達先電力の調整後CO₂排出係数が増加したため、CO₂排出量が増加し、グループ全体の数字としても前年度比**2.2%の増加**となりました。

引き続き、外部環境要因を加味しながら事業活動における一層のエネルギー消費量の削減に努めて参ります。

指標と目標（進捗）

フジテレビのカーボンオフセット実施状況

	2023年度	2024年度	t CO ₂
オフセット分 (Scope2)	13,475	13,997	
その他 (Scope1)	2,987	3,647	
合計	16,544	17,644	

・フジテレビでは、2023年度より非化石証書の購入により、使用電力の実質100%再エネ化を実現しております。

・その他には、空調用の熱源・都市ガス・災害発生時などに使用する非常用発電機燃料などが含まれます。

・実際のエネルギー消費量は原油換算量で2023年10,064（kL）から2024年9,414（kL）に減少し、前年比93.7%となりましたが、調達先電力の温室効果ガス排出係数が2023年0.00039tCO₂/kWhから2024年0.000431tCO₂/kWhとなったため、排出量の数値は増加しました

・引き続き外部環境要因を加味しながら事業活動における電気使用量の削減努力や、社屋設備における省エネ機器への転換などを続けてまいります。